

第5 「放課後子供教室推進事業」 の実践事例 (実施市町の取組)



かがく教室
嵐山町放課後子ども教室スイミー

鴻巣市（19校）

運営委員会名	鴻巣市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計20名)	実施校の校長代表者4名、実施校のPTA代表者1名、放課後子ども教室コーディネーター13名、関係課職員2名		
検討内容	放課後子ども教室の実態把握について 事業計画、安全管理、広報活動等について 事業実施後の検証及び評価について		
放課後子供教室 実施教室数	14教室	放課後児童クラブ 箇所数	22箇所
対象学区	19校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 6教室 連携型 6教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	34日
総登録児童数	916人	総ボランティア数	306人
平均参加児童数	613人	平均スタッフ数	10人/教室
コーディネーター数	14人		

教室紹介

教室名	屈巣小学校放課後子ども教室	活動場所	図書室、理科室、音楽室、体育館、校庭
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 40人 1日平均参加者数 32人
活動内容	学習の時間、ものづくり教室（季節の行事に合わせた物作り、科学教室、料理教室など）、お話会（ブラックライトシアター、パネルシアター、布絵本、紙芝居など）、交流教室（フラダンス、百人一首、将棋、けん玉、じゃんけんゲームなど）、スポーツ教室（グランドゴルフ、ドッジボール、ドッジビーなど）		
連携団体	PTA、保護者ボランティア、地域ボランティア		
活動の成果	<p>本市でこの事業が始まった平成23年度より開設している放課後子ども教室で、放課後児童クラブと連携型で実施している。</p> <p>小規模校のため参加児童はみんなで同じ体験等をしているが、多種多様な取組により、様々な経験ができると子どもたちから好評を得ている。また、低学年は、上級生とのふれあいを楽しみ、喜んでいいる。</p> <p>保護者からは、学校や家庭ではできない体験ができる、放課後子ども教室について親子の会話が弾む、放課後子ども教室の日を楽しみに子どもが登校している、家で留守番させるより安心である、などの好評を得ている。</p> <p>スタッフからは、準備や指導で苦勞は多いが子どもたちの笑顔を見ることが喜びになる、子どもたちや保護者から地域で挨拶をされたり学校の行事等に招待されることで自己有用感や生きがいを感じる、などの感想が聞かれ、スタッフのモチベーションの向上にもつながっている。</p>		



【ものづくり教室】
七夕、ハロウィン、クリスマス、ひな祭りなど季節の行事に合わせた物作り



【お話会】
蛍光絵の具で描いた絵が暗闇の中に浮かぶブラックライトシアターなど創意あふれるお話会

上尾市(22校)

運営委員会名	上尾市放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計20名)	コーディネーター3名、教育活動サポーター5名、地域の協力者3名、公民館長6名、生涯学習課職員3名		
検討内容	放課後子供教室活動報告、活動計画の報告		
放課後子供教室 実施教室数	2教室	放課後児童クラブ 箇所数	35箇所
対象学区	2校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 2教室 連携型 0教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	49日
総登録児童数	45人	総ボランティア数	231人
平均参加児童数	28人	平均スタッフ数	6人/教室
コーディネーター数	3人		

教室紹介

教室名	上尾市放課後子供教室	活動場所	大石・原市公民館
参加対象	大石・原市小学校児童	参加者数	登録児童数 45人 1日平均参加者数 28人
活動内容	体験活動、郷土学習、囲碁、料理、季節の行事など		
連携団体	公民館活動サークル、子どもの読書活動支援センター、あいの会、いきがい愛の会、郷土芸能団体		
活動の成果	<p>公民館を活動場所とする地域の大人などが指導者となり、ささら獅子舞などの郷土芸能、地域の歴史学習、季節の行事や工作、実験など様々な体験活動を行っている。参加している子供たちの参加率も毎回高く、子供同士の関係や指導者となる公民館サークルの方と子供たちの関係も良好になり、公民館を核としたコミュニティづくりの礎が築かれつつある。</p> <p>また、子どもの読書活動支援センター、文化財発掘調査員など専門職員を講師に招くことで、社会教育施設や関係各課との連携も推進されている。</p>		



【伝統芸能体験】

畔吉ささら獅子舞を体験しよう



【遺物整理】

なぜ、海なし県の上尾で貝が出土？

草加市（21校）

運営委員会名	草加市放課後子ども教室推進事業運営委員会		
構成役職 (合計14名)	放課後子ども教室代表者3名、放課後児童クラブ代表者2名、社会教育関係代表者1名、児童福祉関係代表者1名、草加市PTA連合会代表者1名、地域住民代表者3名、学校関係代表者1名、市職員2名		
検討内容	事業計画の策定、安全管理方策の調査及び検討 広報活動方策の調査及び検討 ボランティア等地域協力者の人材確保方策の調査及び検討 事業実施後の検証・評価、放課後児童健全育成事業との連携の検討 その他事業の運営に関し必要な事項		
放課後子供教室 実施教室数	21教室	放課後児童クラブ 箇所数	37箇所
対象学区	21校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 20教室 連携型 1教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	46日
総登録児童数	2884人	総ボランティア数	261人
平均参加児童数	1520人	平均スタッフ数	8人/教室
コーディネーター数	15人		

教室紹介

教室名	新里小放課後子ども教室「にににこ」	活動場所	多目的室・家庭科室・校庭
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 157人 1日平均参加者数 97人
活動内容	宿題・ボール遊び・昔遊び・お絵かき・ボードゲーム等		
連携団体	なし		
活動の成果	<p>新里小放課後子ども教室「にににこ」は、平成19年度に開設され、毎週水曜日に開催している。</p> <p>子どもたちは集団の中で、他クラスや異学年と交流することができ、ここで出会った地域の大人と顔見知りになることで、地域の中でも挨拶を交わす関係も築けており、社会性や協調性を育む場となっている。</p> <p>また、児童クラブとの連携については、子どもたちは校庭等で一緒に活動するとともに、日頃からスタッフ間のコミュニケーションも図られている。</p>		



【校庭でボール遊び】
学年関係なくみんなで一緒にドッジボール



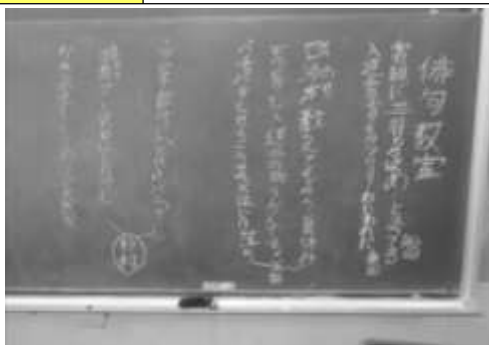
【室内遊びの様子】
昔遊びをしたり、お絵かきをしたり等

藤市（7校）

運営委員会名	藤市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計15名)	開設校の校長の代表者1名、各実行委員会の代表者7名、民生・児童委員の代表者1名、スポーツ又は文化関係団体の代表者2名、留守家庭児童指導室関係者1名、社会教育委員の代表者1名、PTAの代表者1名		
検討内容	(1)放課後子ども教室 実施 (2)放課後子ども教室 委託料について (3)スタッフ基準案の作成 等		
放課後子供教室 実施教室数	7教室	放課後児童クラブ 箇所数	17箇所
対象学区	7校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 7教室 連携型 0教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	30日
総登録児童数	860人	総ボランティア数	308人
平均参加児童数	600人	平均スタッフ数	20人/教室
コーディネーター数	7人		

教室紹介

教室名	南小学校区放課後子ども教室	活動場所	余裕教室、図書室、体育館、オープンスペース、校庭等
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 145人 1日平均参加者数 62人
活動内容	宿題、各種工作教室、俳句教室、スポーツ活動、自由遊び		
連携団体	町会、市民活動団体 等		
活動の成果	<p>活動場所が限られていることと、登録児童数及び参加者数が多いため活動を1、3、5年生のグループと2、4、6年生のグループに分けて隔週で開催。一人あたりの児童を見守る人数が少ないためスムーズな運営につながった。また、活動前に毎回スタッフ会議を行い、活動内容の確認や注意事項等、スタッフ間で情報を共有し、事故、ケガ等をなくすようにした。</p> <p>留守家庭児童室は、校内に1か所と近隣施設に2か所の計3か所あり、事業終了後、スタッフが送り届ける。その際、留守家庭児童室のスタッフに申し送り事項を伝達したり、参加者の行き違いがないか等の連絡や確認を行ったりしている。</p> <p>毎月の誕生日会、下記写真のような俳句教室、季節に合わせた工作などを地域の方と一緒にすることによって、異世代交流の場や、人とのふれあいの大切さを感じられる場の形成に寄与できた。</p>		



【俳句教室】

夏の季語を使って考えたよ♪



【クリスマスリース作り】

一生懸命工作中～完成が楽しみだね!!

戸田市（12校）

運営委員会名	戸田市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計8名)	学校関係者(小学校長)1名、PTA関係者2名、社会教育関係者2名、地域住民(放課後子ども教室コーディネーター)2名、行政関係者(教育政策室担当課長)1名		
検討内容	放課後こども教室の実態把握について スタッフ募集のための広報活動について コーディネーター・安全管理員向けの研修について		
放課後子供教室 実施教室数	11教室	放課後児童クラブ 箇所数	11箇所
対象学区	11校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 12教室 連携型 0教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	21日
総登録児童数	905人	総ボランティア数	173人
平均参加児童数	462人	平均スタッフ数	5人/教室
コーディネーター数	12人		

教室紹介

教室名	新曽北小学校放課後子ども教室	活動場所	余裕教室、体育館、校庭
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 96人 1日平均参加者数 32人
活動内容	宿題、しゃぼん玉遊び、親子で楽しむ英語、プラ板作り、工作、ボール遊び、おにごっこ		
連携団体	特になし		
活動の成果	放課後子ども教室開催日は、放課後児童クラブ入室児童も直接放課後子ども教室の活動場所に行き、参加するが、活動終了後は放課後子ども教室のスタッフが放課後児童クラブまで入室児童を連れて行くことで、安全に移動できるように連携している。通常の開催日では、活動内容により参加児童が自由に活動場所を選べるようにしている。また、放課後子ども教室開催日の中で、特別講座を開催し、「親子で楽しむ英語」として、遊びの中からでも学べる講座を開いた。新しい活動を取り入れることで、児童が興味を持って活動に取り組んでいる。		



【親子で楽しむ英語】
友達の発表を真剣に聞く児童



【親子で楽しむ英語】
英語の音楽に合わせてリズム遊び